



2024年5月13日

各位

会社名 鈴 茂 器 工 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 鈴木 美奈子
(コード番号：6405 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 管理本部長 兼 企画本部長 秋田 一徳
(TEL. 03-3993-1396)

中期経営計画の業績目標修正のお知らせ

当社は、2024年5月13日開催の取締役会において、2019年11月13日に公表いたしました中期経営計画「Growth 2025」（2021年3月期～2025年3月期）の最終年度の連結数値目標を修正することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結数値目標の修正内容

(単位：百万円)

| | 2024年3月期 | 2025年3月期（最終年度） | | |
|--------------|----------|----------------|--------|-------|
| | 実績 | 当初目標 | 修正目標 | 増減 |
| 売上高 | 14,514 | 15,000 | 15,960 | +960 |
| 営業利益 | 1,475 | 2,250 | 1,900 | △350 |
| 営業利益率 | 10.2% | 15.0% | 11.9% | △3.1% |
| ROE（株主資本利益率） | 8.1% | 10.0% | 9.0% | △1.0% |

2. 修正の理由

当社グループは本日公表しました2024年3月期の業績、及び2025年3月期の業績予想、並びに直近の事業環境を踏まえ、経営目標を精査した結果、中期経営計画の業績目標を上記のとおり見直すこととしました。

売上高については、国内外ともに米飯加工機械の販売が大きく伸長し、目標値を超過する見込みとなりました。国内事業については、さらなる省人化ニーズの取り込みとご飯盛付けロボット「Fuwarica」の裾野の拡大により目標値を大きく超過する見込みとなっております。また、海外事業については、東アジア・東南アジアにおいては日系企業の海外進出に伴う製品需要の拡大、北米においてはコロナ禍を通じて機械化と日本食の広がりにより売上が2倍以上に拡大し、今後もさらなる拡大が期待できる市場

となっています。一方で新規事業については、2021年10月にホールでPOSやセルフオーダーシステム等を提供する株式会社日本システムプロジェクトを買収する等、厨房領域を超え、客席フロアを含めた省人化・効率化による「飲食店向けトータルソリューション」の実現に向けた事業創造を進めてまいりましたが、計画に対しては遅れが生じており、目標値を下回る見込みとなっております。

(参考) 国内・海外・新規事業別の売上高内訳

(単位：百万円)

| | 2024年3月期 | 2025年3月期(最終年度) | | |
|------|----------|----------------|--------|--------|
| | 実績 | 当初目標 | 修正目標 | 増減 |
| 国内事業 | 9,637 | 7,800 | 10,044 | +2,244 |
| 海外事業 | 4,084 | 4,200 | 4,933 | +733 |
| 新規事業 | 793 | 3,000 | 983 | △2,017 |
| 合計 | 14,514 | 15,000 | 15,960 | +960 |

営業利益、営業利益率およびROEについては、今後のさらなる成長を見据える中で、必要な人的資源の強化、基幹システムの改修、各種制度や本社・サービス拠点の整備に対する投資等による販売費及び一般管理費の増加により、目標値を下回る見込みとなっております。

なお、中期経営計画「Growth 2025」に掲げております基本方針、重点戦略等に変更はありません。当社グループは、『食の「おいしい」や「温かい」を世界の人々へ』というビジョンの元、企業価値の向上と持続的な成長に努めてまいります。

以上

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。